

令和7年度 小山市立東城南小学校 教育ビジョン

学校教育目標

心と体を鍛え 学びを楽しみ 主体的に生きる児童の育成

次代を担う子ども像（目指す児童像）

心と体を鍛える子 学びを楽しむ子 正しく行動する子 人や地域を大切にする子

◆成果指標（R6学校評価における肯定的評価）

「東城南小学校に通えてよかった」 児童97%・保護者93%・教職員96%

◆成果指標（R6学校評価における肯定的評価）

「学校は楽しい」 児童91%・保護者85%・教職員98%

育てていきたい資質・能力

- 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感し、**主体的に学ぶ意欲**
- 自己の役割を果たしつつ、**他者と協力して積極的に社会を形成する態度**
- 自らの夢や志をもち、**地域を愛し、社会に貢献しようとする心情**

特色ある教育活動

ICT教育の推進 英語教育の充実 魅力ある学校づくり 防災教育の推進 CSの推進

心づくり

相手の気持ちを考え、自分から
行動する心づくり

- ①相手の立場に立って考えられる心の育成
- ②目標に向かって最後まであきらめない態度の育成
- ③児童生徒指導が機能した授業の展開
・自己決定、自己存在感、共感的人間関係
- ④社会性を育む規範意識の醸成や基本的生活習慣の定着
- ⑤健康・安全に気をつけて生活しようとする意識の高揚

◆成果指標（R6学校評価における肯定的評価）

「目当てに向かって最後までがんばることができる」

児童90%・保護者83%・教職員84%

「ルールを守って生活している」

児童94%・保護者92%・教職員73%

学びづくり

自ら考え、みんなで伝え合う
学びづくり

- ①具体的な活動や体験を通した学びの基礎づくり
- ②基礎的学習習慣の確立
・話す、聞く、話し合うなど学習の基礎基本の定着
・正しい姿勢（立腰教育の推進）
・学用品を整える
- ③より深く課題を追求しようとする態度の向上
- ④学ぶ楽しさを実感できる授業づくり
・学んだことをどの子も自分なりに表出できる

◆成果指標（R6学校評価における肯定的評価）

「学びを楽しんでいる」

児童92%・保護者52%・教職員84%

「ICT機器を活用した学習は楽しい」

児童94%・保護者89%・教職員92%

仲間づくり

支え合い、助け合う仲間づくり

- ①話し合い活動の充実
・合意形成を目指す話し合い活動の工夫（集会活動）
・学級の求心力を高める目標設定と振り返りの工夫（学級活動、学校行事）
・規律ある集団の育成
- ②いじめを生まない、いじめを許さない学級・学年・学校づくり
・支持的風土の形成や愛級心の醸成
・多様なアプローチと個に応じた働きかけ
- ③児童会活動や異年齢集団活動の推進
- ④多様性を受け止め、互いを尊重し合うインクルーシブ教育の推進
- ⑤感染症に留意しながらの学校行事、体験活動、交流活動の充実

◆成果指標（R6学校評価における肯定的評価）

「友だちや仲間のことを考えて生活している」

児童97%・保護者94%・教職員86%

特別支援教育

- 一人一人の教育的ニーズに応じた支援・指導
- 物的・人的学習環境のUD化（ユニバーサルデザイン）
- 発達段階に応じたSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）
- 個別の教育支援計画・指導計画の効果的活用
- 生活や学習上の困難を改善するための自立に向かわせる合理的配慮

道徳教育

- 道徳科を中心に、豊かな体験活動と関連づけた心の教育の推進
- 道徳科の特質を重視し、「考え、議論する道徳」の実践
- 家庭や地域と連携を図った道徳教育の推進
・授業公開、情報発信、地域の方々との交流

児童生徒指導

- 「児童生徒指導の3機能」を活かした支持的風土の学級づくり
・自己決定の場の設定
・自己存在感の醸成
・共感的人間関係づくり
- 発達段階に応じたSSTと計画的なエンカウンターの実施
- 早めの連絡と相談による適切な対応

特別活動

- 生活づくりのための学級活動（1）
・一人一役、一責任の活動
- 自己指導能力を育てる学級活動（2）
・自己目標の設定と自主的実践的な活動
- 集団や社会の形成者としての見方・考え方を育てる学級活動（3）
・キャリア形成と自己実現

3つの「つくる」…安心できる居場所・温かな人間関係・自他を大切にした規範意識
具現化していくために「褒める、認める、価値付ける（意味付ける）」

安心・安全な学校

- ①子どもの安心・安全を意識した教育活動
- ②子どもの人権を大切にしたい指導（いじめの未然防止・早期発見・指導力向上研修）
- ③SC・SSWや関係機関と連携した安全で安心な体制づくり
- ④施設設備の点検、避難訓練の質的向上、交通安全指導の徹底
- ⑤防災教育を軸とした現地学習の充実（6年生宮城県方面）

家庭・地域との連携・協働

- ①コミュニティ・スクール（CS）の推進（地域人材、ボランティアの協力）
- ②授業公開や各種たより、HPなどによる学校の取組の発信
- ③職員室コネクトサービス等の活用（メール、各種たより等の配信）
- ④地域活動への積極的な参加と交流